

コストパフォーマンスを追求した電動・手動スクリーン

ホームシアター用にオーエスプラス e から新登場!!

株式会社オーエスプラス e（本社：東京、代表：奥村正之）は、コストパフォーマンスを追求した、巻き上げ式のプロジェクタースクリーン「Cセクション」を本日より新発売いたします。従来のスクリーンを、映画鑑賞に最も利用される HD（16:9）サイズに絞り込むなど、大幅にコストの見直しを計り、約 30%の値下げを実現しました。

同時に長年培ってきたホームシアタースクリーンのモノづくりの経験から、ユーザーの視聴環境を見直し、機構部を除くスクリーンの全高をサイズにかかわらず 2150mm に設定※し、上部黒マスク部分（上黒）の十分な確保をいたしました。これによりシアタールームにおけるスクリーン設置の自由度が高くなりました。

幕面はホワイト（WG）、視聴する部屋のどこのポジションでも均質な映像を確保する拡散型の生地を採用しています。

新発売の Cセクションは電動（SEC）3機種、手動（SMC）3機種の計 6機種です。手軽なホームシアター用スクリーンとしておすすめいたします。

※一般的な家庭の標準天井高を 2450mm、プラスする“スクリーン設置ボックス”を 150mm として、合計の全高 2600mm、AV 機器などの収納設置高さを 450mm と仮定し、これをスクリーンの基準値として「上黒+イメージ高さ+下黒」の合計寸法を全てのスクリーンで 2150mm としました。これによりユーザーはスクリーンサイズに煩わされることなく、全体寸法でスクリーンをお選び頂けます。この考え方をオーエスでは CTP（Case To Pipe）と称し、今後のスクリーン展開に生かしていきます。

商品名：オーエススクリーン Cセクション SEC(電動)、SMC(手動)

希望小売価格：60,060円（手動）～179,550円（電動）税込価格

発売日：2011年11月22日(火)



写真：SEC-080HM-R2

《C セレクションの主な特長》

- ・ アスペクト比：HD (16:9)
- ・ シンメトリー構造でスクリーンのセンター出しが容易。取り外しできるセンターマーク付き
- ・ 取付金具とキャップを樹脂成型で一体化
- ・ 全方向から均一な映像が視聴可能な拡散型ホワイト生地 (WG) を採用
- ・ スリムな四角ケース

《電動 SEC の主な特長》

- ・ 回路基板はケース内に収納
- ・ 赤外線リモコン標準装備
- ・ 設置後コンセントに電源プラグを差し込めば、すぐに使用が可能

《手動 SMC の主な特長》

- ・ ボールストップ機構で正確な引き出し位置に簡単に固定
- ・ ソフトwind機構で巻き上げ操作が快適
- ・ スクリーンの引き出し用には、軽くおしゃれなアルミフック棒を標準装備

《C セレクションの主な仕様》

アスペクト比	操作	型式	イメージサイズ W×H(mm)	全長 mm	全高 mm	奥行 mm	上黒 mm	製品質量 kg	価格 (税込)円
HD (16:9)	電動	SEC-080HM-R2	1771×996	2087	2265	90	1104	9.3	131,040
		SEC-100HM-R2	2214×1245	2530	2265	90	855	11.2	140,700
		SEC-120HM-R2	2657×1494	2973	2265	90	606	12.0	179,550
	手動	SMC-080HM-2	1771×996	2053	2303	90	1104	9.4	60,060
		SMC-100HM-2	2214×1245	2496	2303	90	855	10.4	68,880
		SMC-120HM-2	2657×1494	2939	2303	90	606	11.4	82,530

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
コンタクトセンター
電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496
E-mail info@os-worldwide.com

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
マーケティンググループ 藤枝 昭
TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000 年 10 月

資本金：1000 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000 年 10 月 12 日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

《株オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) ／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (イタリア) ／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストラリア) ／画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー